

次期当番校挨拶

愛知大学図書館長

塩山 正純

来年度の私立大学図書館協会総会・研究大会当番校を仰せつかりました愛知大学図書館で館長をつとめております塩山正純と申します。本来ならば、大会にご参集の皆様にご挨拶を申し上げるべきところではございますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で対面式での開催が見送られたということで、書面でひと言ご挨拶を申し上げます。

先ずは、このような先の見通せない状況の中で、本年度の大会開催校として諸事尽力下さいました明治大学図書館ならびに協会の関係各位に衷心より感謝致します次第でございます。次年度開催校として、今回大会の運営を身近に勉強させて頂くことは叶いませんでしたが、まさに現在進行中の大学でのオンライン教育も顕著な一例であるように、今回のコロナ禍で世の中全体のシステムが大きく変わりつつある中で、工夫された点、ご苦労された点を、来年度の開催に活かせることが出来ればと思っております。

来年度は愛知大学が当番校ということになりますが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が延期されて、開催自体もどうなるか分かりませんが、今年と同時期での開催となりますと、やはり、例年通りの時期での開催は難しいということになりますので、来年度につきましても、今年度と同様の調整が必要になってくるかと思います。

日程については、現在のところ、2021年の9月9日（木）に総会、翌日9月10日（金）に研究大会というような案を用意しております。また、会場について申しますと、愛知大学には1946年に本学が創立された豊橋キャンパス、2012年春に移転開校しました名古屋キャンパス、それから名古屋市内の中心部に位置して大学本部と法科大学院があります車道キャンパス、の3つのキャンパスがありますが、ご参集下さる際の利便性を考えまして、名古屋キャンパスでの開催を考えております。新幹線で名古屋に着きますと、「あおなみ線」に乗り換えて1駅、最寄りの「ささしまライブ駅」からはすぐそこに校舎の建物が見えておりまして、駅から連絡通路で雨天でも傘なしの徒歩2、3分でお越しいただけます。迷うこともできないくらいに小さな校舎ですが、一応、今のところグローバルコンベンションホールでの開催を考えております。次年度もぜひご参加いただければ幸いです。

大会テーマについては、本年度は「大学図書館のコレクション構築を考える」ということでしたが、実は目下、愛知大学でも小さな取り組みですが、本学がこれまで蓄積していた人文科学の貴重資料をデジタル化して広く社会に公開しようというプロジェクトを昨年から始めております。今年度の議論をさらに深めるという意味で、次年度のテーマとしましては、【知の基盤としてのデジタルアーカイブを考える（仮称）】というような方向で予定しております。講演予定者その他、具体的な企画立案はまだこれからですが、大会参加者の議論が深まるきっかけになるような内容を考えていきたいと思っております。

今年度大会の開催に尽力されました全ての関係者の皆様に重ねて感謝致しますとともに、次年度の名古屋へのご参集を心よりお願い致しますと、ご挨拶に代えさせていただきます。